

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510

TEL : 0838-21-7765

e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp

HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

ジオパーク活動の拠点 ジオパーク・ビジターセンターについて

新しい年を迎え、3月4日（土）には萩・明倫学舎内に萩ジオパーク構想と地域の大地の遺産を紹介するビジターセンターがオープンします。残念ながら日本ジオパーク認定は見送りとなりましたが、今年も一年、皆様のお力添えにより萩ジオパーク構想を一層推進することができました。新たに整備するビジターセンターを拠点に、ジオパーク活動の更なる充実を図ってまいりますので、引き続き御支援のほど、よろしくお願いいたします。

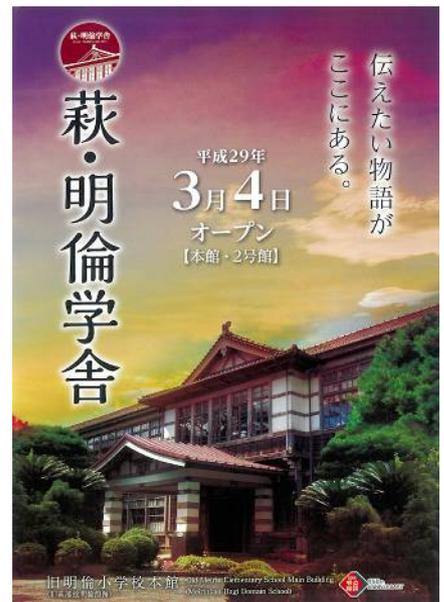
なお、秋吉台が一望できる場所に整備が進められていた *Mine* 秋吉台ジオパークの拠点施設 *カルスター* が、12月3日（土）にオープンしました。

「カルスター」は美祿市の公共施設ですが、ジオパークに関する市民の活動

の場であり、オープニング式典ではジオガイドの皆さんが進行役ほかのスタッフを務められました。施設には休憩スペースやカフェも併設され、ジオパークを訪れた方々に、地元ならではの話を伝える交流の場としても期待されています。ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。



(オープンした拠点施設「カルスター」)



(オープン予定の「萩・明倫学舎」)

手作りの岩石教材“子どもたちに萩の大地を”届けるために

萩「ジオな教育」推進委員会は、小中学校の理科教育に携わる者を中心に、学校教育とジオパークをつなぐ目的で平成26年に設立しました。今年8月には雨の中、萩の大地をつくる岩石の教材化を目的に、『石拾いの会』を敢行。小学校6年生の理科の単元『土地のつくりと変化』で使ってもらおうと、10月には、礫岩（れきがん）、砂岩（さがん）、泥岩（でいがん）の堆積岩セットを小学校2校に提供しました。それぞれの岩石の粒の違いを、触ったり顕微鏡で観たりと、実物による学習の深まりがあったようです。そして、中学校の教科書で紹介される12種類の岩石セットを作るために、12月11日（日）、『石拾いの会』第2弾を実施。石採取の作業中、メンバーの1人から、「萩ジオパーク構想のエリア内で採取される岩石、特に『安山岩』と『斑い岩』は教科書で紹介される物と違う。子どもたちが戸惑うのでは？」との発言がありました。例えば、笠山の安山岩はかつて「石英玄武岩」と呼ばれ、黒っぽく玄武岩らしい色をしています。岩石の多様性を知ってもらい、かけがえない大地と認識してもらえるように、もうひと工夫を検討していきます。

(右上：岩石セットを使って学習する大井小の児童

右下：現地で研修をする教員たち)



学校で進むジオな取り組み

萩市立須佐中学校、萩市立萩東中学校、萩市立福栄小・中学校

須佐中学校 学校開放講座—ジオパークガイド養成講座— 11/19 (土)

須佐中学校で開催された学校開放講座では、「ジオパークガイド養成講座」と銘打って、「ふるさと須佐 自然の宝庫を語ろう」をテーマに、子どもたちと地域の皆さんが二人一組のペアを組み、準備したパンフレットなどの資料をもとに、説明できる場面を探し、お互いにガイドを行いました。須佐の壘岩、高山（磁石石）、壘ヶ淵などの魅力的な大地の遺産について、それぞれ不思議に思ったこと、面白いと思ったことなどをもとに、ジオストーリーを組み立て、とっておきのエピソードを交えて発表しました。当たり前になっていたことが実は貴重な価値をもつことなど、認識を新たにしました。



萩東中学校「公開講座」—萩の火山は不思議がいっぱい— 11/27 (日)

地域住民や保護者の方々を対象に開催される萩東中学校の公開講座は、今年で4回目となります。毎年、萩の火山やジオパークをテーマに講座が設けられ、今年「萩三角州をジオる—江戸時代に学ぶ大地とのつきあい方—」と題して、萩ジオパーク構想推進協議会の伊藤靖子・藤田尚子・樋口尚樹が講師を務めました。参加者の中には、毎年この講座を楽しみにしているという住民の方もおられました。

萩三角州の形成が青野山火山群の噴火を起源としていること、萩の城下町が萩三角州の自然地形である微妙な高低差に配慮して建設されたこと、萩三角州中央部の後背湿地が都市の近代化を吸収したため江戸時代からの町並みが残ったこと、江戸時代の洪水の被害状況と洪水防止策などを話しました。講座の最後に、参加者各自が弁当パックのふたを使った萩三角州の地形模型作りに挑戦し、萩三角州の高低差を目で確かめていました。



福栄小・中学校「ジオ講演会」—ふるさとのジオを知る— 11/29 (火)

福栄小・中学校では、これまでもジオパークに関する授業や遠足などを実施してきました。今回の講演会は、小学生5・6年生と中学生、地域・保護者の方々を対象に行われました。当日は小中学生53名と地域・保護者の方10数名が参加されました。講演内容は、萩市が推進している「ジオパーク構想の概略」、「地元福栄のジオサイト」、「福栄独自の自然や文化遺産とジオ」などに関してでした。講師は萩ジオパーク構想推進協議会の伊藤靖子・樋口尚樹・増野和幸が務めました。前半の講演に続いて、後半では福栄を象徴する山、紫雲山や鍋山のでき方について、歯科印象材を使っての実験を体験しました。柳林浩一校長先生は、「こうした企画を内容を変えて、毎年実施したい」と話されていました。参加した児童・生徒たちにとってはふるさとのジオを学ぶ貴重な時間になりました。



「糸魚川大火の義援金受付が、糸魚川市で開始されました。

詳細は次号でお知らせいたします。

1月の予定

- 萩ジオカフェ 1月19日(木) 14:00~15:30、18:30~20:00、場所：萩市市民館 第3会議室、参加費 100円(お茶代)
『萩ジオカフェ』とは、ジオパークについて学び、参加者同士で萩のジオパークで何がしたいか、どう関わり、行動するか、などを気軽に語り合う場。今後、月1回(第3木曜)に開催予定です。
- 萩観光セミナー・ボランティアガイド講座「萩ジオパーク構想について」、(講義)1月26日(木) 13:30~15:00、場所：萩博物館、(現地研修)1月27日(金) 13:30~15:30、場所：萩城下町、申込み等：萩市観光課(0838-25-3139)、主催：萩おもてなし推進協議会